

研究をおもしろく、  
わかりやすく！

2020年10月1日

発行：研究・イノベーション推進機構

https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/

## Top10%, Top 1%論文って何？

### 世界と競える強みを把握！

「科学研究力」を見ると、【量的観点】と【質的観点】が求められます。

そこで、量的観点として論文数を、質的観点として他の論文から引用される回数の多い論文数、つまりは、「Top10%・1%補正論文数」が用いられるのです。

Top10%(1%)補正論文とは、論文の被引用数が各分野の上位10%(1%)に入る論文の抽出後、実数で論文数の1/10(1/100)となるように補正を加えた論文数を指します。分野毎に算出するのは、分野毎に平均被引用数がかかなり異なるため、その違いを標準化するためです。

TOP10%または1%論文をカウントすると、「世界の注目度の高い論文の生産への関与度」を把握することが出来るのです。

ご自身の論文の位置づけが知りたくありませんか？

InCites Benchmarking: [研究分析ツール](#)で、今すぐ確認しましょう。 [InCitesへログイン](#) ←Click

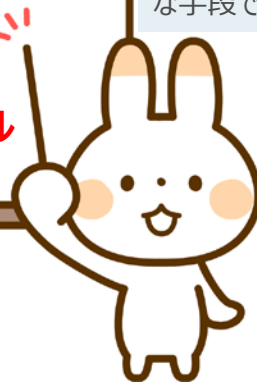
※初めて使用する方は[登録](#)が必要です。Web of ScienceのID・パスワードでログイン可

「客観的指標から業績評価を確認する」方法は2つ！

① [個人データから調べる](#) ←Click

② [論文データから調べる](#) ←Click

**研究業績調書でも、積極的にアピール  
してください！**



科研調書の作成  
は順調ですか？



### 「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング2019」

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、研究ポートフォリオ8分野、22分野、203サブジェクトカテゴリの3つの粒度の異なる分野分類を用いて、日本の大学のベンチマーキングを行いました。

- 研究ポートフォリオ8分野（化学、材料科学、物理学、計算機・数学、工学、環境・地球科学、臨床医学、基礎生命科学）ごとに、論文の量と質（論文数に占めるTop10%補正論文数の割合）により各大学をマッピング
- 22分野ごとに世界被引用数上位300位に入る大学を把握
- 203サブジェクトカテゴリごとに世界被引用数上位300位に入る大学を把握

**被引用数上位100位以内のサブジェクトカテゴリにおいて、菌類学（Mycology）で弘前大学が30位に入りました。**

このようにサブジェクトカテゴリの分析は、必ずしも研究活動が大規模ではない大学においても、強みとなる研究内容を保有している大学を抽出するのに有効な手段であることがわかります。

## 科研費説明会（WEB） ご参加いただけましたか？

令和2年9月24日（木）、科学研究費助成事業公募に向けた説明会を開催しました。今年度はWEB開催という初の試みでしたが、334人という過去最高の参加者となりました。講師の先生方、貴重なお話をありがとうございました。

当日、どうしても参加できなかったという方も、心配いりません！[こちら](#)で、オンデマンド配信中です。

講演資料も掲載中ですので、計画調書作成の参考にしてください。

科研費申請もラストスパート、最後まで全力で駆け抜けましょう！

